

村の誇りを取り戻す！ ～農村の新しい価値を創造～

活動地域



棚田の田植えを親子で体験

課題

古来受け継いできた棚田の環境を守ることは大切であると同時に、汗と努力の結晶でもある。楽しく参加できる工夫が必要。

目標

意義を理解して参加する棚田オーナーの輪を広げ、農村（村人）と都市（街人）の良い関係を作り出した。



今後の展望

農村人口が減り後継者が減少する中、豊かな自然環境を求める都市住民の欲求は高まりつつある。その中で、棚田オーナー制を取り入れ、体験の楽しさと、農村環境の保全を同時に解決したい。

活動内容と成果

450年以上受け継いできた棚田のうち田んぼ7枚（3,500m²）の米づくりを市民と子どもたちの力で行った。地元の小学校や幼稚園を受け入れて行ってきた、農業体験や自然体験はその実績を認められ、令和4年度農水省「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に認定された。今後さらに活動を広げ、子どもたちの育成にむけて活動を深めていきたい。同時に、古来里山環境に生息する希少な生物を守り、モニタリングしていくことによって、農村の素晴らしさと新しい価値を高めていきたい。



棚田の石積みを修復

つづける助成

1年目

実践

イベント参加者

1,000人

棚田オーナー

6口

今年度計画の達成度

80%

目標達成度

60%

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

棚田里山の農業環境を維持するためには、体力のみならず、きめ細かい農作業が欠かせない。どれだけの人材を受け入れるかが問題。

工夫した点

ここで育ち成長した、高校生や大学生に役割を分担し、また、農作業の技術を伝え、スタッフとして活躍してもらっている。

〒649-7205

和歌山県橋本市高野口町名倉979

川口ビル2F（事務所）

電話：090-8160-3076

E-mail：s3103104@msn.com

HP：http://satoyamagakkou.sakura.ne.jp

